

食農教育活動
能代支部

「食」と「農業」の大切さを伝える

～淳城西小 第4回畑作体験～

女性部能代支部は、年間を通し「食」と「農業」の大切さを学んでもらうことを目的に農業体験学習を開催しております。9月30日には今年度最後となる4回目の農業体験学習が淳城西小学校5年生を対象に開催され、4月に定植した「白神ねぎ」と6月に定植したサツマイモの収穫を行いました。

児童が苗を定植した野菜は、女性部が草取りや土寄せを行ったこともあり順調に生育。サツマイモ掘りでは「なかなか抜けない」と歓声を上げながら、生き生きと体験し、収穫の喜びを感じておりました。

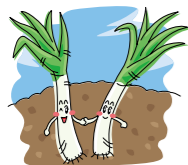
女性部では今後も食や農業の大切さを伝える食農教育に取り組んでまいります。



農業の大切さを伝える佐々木博子さん



白神ねぎ収穫しました



児童が育てたサツマイモを蒸かして試食



応援に訪れた白神ねぎのんと記念撮影



固い土でサツマイモ掘りに悪戦苦闘



収穫した野菜を前に記念撮影



能代営農センターとなりにある
圃場案内板

科技高リポート ~ New Style ~
Vol.17



今回の製作担当生徒
2年 鈴木 慶人さん 3年 山本 優さん

どきどきインターンシップ!

9月2～4日に2年生がインターンシップに行ってきました。男鹿市の藤原梨園や能代市農業技術センター、いとくなど様々な場所でインターンシップを受け入れていただきました。藤原梨園に行った生徒は、「梨についてだけでなく、スタッフさんやお客様などの人との関わりや工夫されている取り組みなどについて学ぶことができました。」と話していました。能代市農業技術センターに行った生徒は、「ねぎの出荷調整などを行いました。サイズの違うねぎを選別するのは大変でしたが、職員の方々が丁寧に教えてもらいうまく作業することができました。」と話していました。いとくに行った生徒は、「私たちの身近にあるスーパーマーケットで実習をしてみて、普段は見ることのできない裏側で作業をすることで、私たちの生活の裏で行われている作業がどんなものなのかを学ぶことができました。」と話していました。体験してみて仕事の難しさや楽しさなどたくさんのことが学べるいい機会になったと思います。



藤原梨園の皆さん



丁寧に丁寧に...



出荷準備中!



商品検品中

今年の稲刈り実習

今年も稲刈りの季節がやってきました! 科学技術高校は9月17日からあきたこまちの稲刈りを始めました。春から水路の遠隔操作やザルピオフィールドマネージャーの衛星画像を活用した成育調査などのスマート農業にも挑戦しました。今年は生育が良く、生長するのが早かったので例年よりも一週間早く稲刈りを始めました。雨がひどくコンバインが入れない日もありましたが、先生に指導をもらいながら丁寧に刈り取ることができました。籾摺り機や米選機で玄米にし、米袋に入れ出荷準備をしました。本校では夏から新米の予約販売を学校のホームページで行っています。今年で4年目ということもありリピーターのお客様も増え、今年分のあきたこまちはあっという間に完売することができました。買ってくださった方々大変ありがとうございました。来年も販売しますのでぜひ科学技術高校のホームページからご購入してみてください!



ドローンを使い撮影しました!



3年作物専攻班です



ドキドキしながらの運転



無事お客様に届きますように